

羽村市史編さんだより

創刊号
平成27年
4月

伸びゆく はむら



N e w s

第2回羽村市史編さん委員会を開催

2月2日（月）、市役所で、第2回羽村市史編さん委員会を行いました。会議では、平成26年度の事業の進捗よく状況や平成27年度の活動予定について話し合いました。

また、市史の構成や内容について審議を行い、活発な意見交換が行われました。

会議録は、市史編さん室および市公式サイトで公開しています。ぜひ、ご覧ください。



▲第2回羽村市史編さん委員会の様子

『羽村市史』の事業についてお知らせします

『羽村市史』は、市制施行30周年である平成33年度に本編2冊を刊行します。平成32年度までに、資料編8冊を刊行していきます。

目的

- ①市制施行30周年に向け、市民意識の高揚を図ります。
- ②市民の郷土羽村に対する理解と愛着を深めます。
- ③先人が築き発展させてきた思いと歴史を次代に継承していきます。
- ④貴重な遺産を新たな「はむら」の創造に繋げていきます。

基本方針

- ①戦後の羽村の歩みを、さまざまな角度からアプローチして記録します。
- ②『羽村町史』編さん事業の過程で蓄積された資料、その後に蓄積されてきた資料や調査・研究の成果を十分に活用します。
- ③地域に埋もれている未発見の資料を掘り起こし、活用します。
- ④羽村の歩みに関する事柄について、市域に限定せずに幅広く調査し、活用します。

編集方針

- ①歴史学の分野にとどまらず、自然に関すること、生活の移り変わりなどの視点、市民生活の視点を取り入れていきます。
- ②市民の生涯学習活動に広く活用できるよう、誰にでも読みやすく、見やすく、理解しやすい記述の方法を取り入れていきます。
- ③羽村の歩みを、原始古代の時代から書き起こし、原則として第四次羽村市長期総合計画が終了した時期までを記述します。

市史の構成と内容

本編 (2冊)

羽村市の自然、歴史、文化、人々の生活の様子などを総合的にまとめ、歴史の分野では、時系列に整理し記述したもの

本編①：自然・原始～近世編 (第1・2・4部会)

本編②：近代・現代・民俗編 (第3・5部会)

資料編 (8冊)

市史編さんの過程で収集・整理し、分析された資料群のなかで、『本編』の記述の際に根拠とした資料を集成したもの
また、『本編』の理解を助けるための資料や研究成果をまとめたもの

資料編①：原始・古代編 (第1部会)

資料編②：中世編 (第1部会)

資料編③：近世編 (第2部会)

資料編④：近現代写真図録編 (第3部会)

資料編⑤：近現代資料編 (第3部会)

資料編⑥：自然編 (第4部会)

資料編⑦：民俗編 (第5部会)

資料編⑧：社寺・文化財・人物編

ダイジェスト版

『羽村市史』を学校教材などに活用するため、『本編』を分かりやすく要約し、学習指導要領に沿って再編集したもの

明星大学の学生が市史編さん室でインターンシップ

明星大学の学生が、2月23日(月)～27日(金)に2人、3月16日(月)～20日(金)に2人、市史編さん室でインターンシップ(*1)を行いました。

広報紙から市史編さん事業に関する記事の検索、写真の整理作業など、地道な作業でしたが、どの学生も5日間一生懸命に働いていました。

学生たちにとって、今回の経験が直接役立つことはなくても、社会に出て「働く」というイメージを少しつかめたのではないのでしょうか。

(*1) インターンシップ…学生が一定期間企業などの中で研修生として働き、自分の専攻や将来に関連のある就業体験をする制度



▲インターンシップの様子

体験した学生の声



近藤さん

元々昭和の暮らしが好きで参加しました。

写真を見て記憶する作業はつらかったですが、徐々に慣れ、記憶したことが写真整理をする時に役に立ちました。貴重な体験でした。



浅見さん

大学で冊子を作る授業があり、写真の使い方の参考にするために参加しました。笑顔の写真が多く、印象的でした。

古い写真に触れ楽しかったです。今後は古い物に触れようと思います。

部会の手帖



◆部会の構成

部会名	担当分野
第1部会	原始・古代・中世
第2部会	近世
第3部会	近代・現代
第4部会	自然
第5部会	民俗

※第2・5部会は、4月から活動が本格的にスタートします。

第1部会

市内の埋蔵文化財包蔵地などの巡見、青梅市内の三田氏（*1）関連遺跡の巡見を行いました。

また、青梅市郷土博物館所蔵の明治8年頃の下長淵村地租改正絵図（縦4.5m×横3.3mの大きさ！）の調査を行いました。

現在は、市内の中世資料の所在確認と目録化を進めています。

（*1）三田氏…中世の頃、青梅・奥多摩町の一部と共に、羽村一帯を支配していた豪族

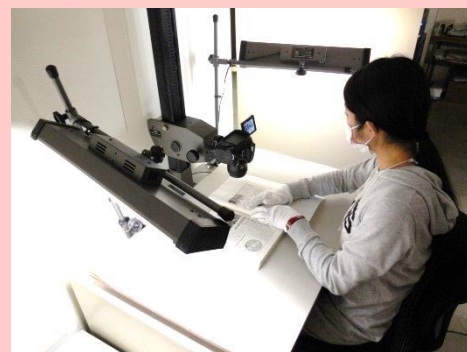


▲青梅市巡見の様子

第3部会

市内近現代遺跡の巡見を行いました。そのほか、資料編「近現代写真図録編」の刊行に向けて、広報広聴課の所蔵する写真の整理、市勢要覧などに掲載されている写真の複写、羽村市関連の新聞記事の目録作成、過去の公文書の確認などを行いました。

引き続きこれらの作業を進めていくとともに、聞き取り調査に向けた準備も行っていきます。



▲写真の複写作業の様子

第4部会

地形分野では、市内を自転車でまわり、大昔の多摩川の河原（段丘面）の分布を詳しく調べました。採取した土砂の年代を、今後測定していきます。

気候分野では、気温の観測地点の選定を行いました。今年度から移動観測・定点観測（小学校3校）を開始します。

生態分野では、今後、緑地や多摩川の植生調査などを行います。



▲市内調査の様子

市史編さんの足あと

年	月	日	できごと	年	月	日	できごと
平成 26 年	4月	1日(火)	「市史編さん室」発足	平成 27 年	1月	20日(火)	市史編さんだより「伸びゆくはむら」創刊準備号発行
		23日(水)	狛江市市史編さん事業視察			27日(火)	第1部会青梅市巡見
		24日(木)	小平市市史編さん事業視察		2月		2日(月)
	5月	1日(木)	相模原市市史編さん事業視察			25日(水)	第5回市史編さん本部
		26日(月)	第3回市史編さん本部				23日(月)～ 27日(金)
	7月	31日(木)	第4回市史編さん本部		3月	16日(月)～ 20日(金)	
	8月	14日(木)	都立多摩図書館新聞データ ベース操作説明会参加				17日(火)
						10月	
	31日(金)	第3部会市内巡見	22日(日)				第2部会市内巡見
	11月	12日(水)			相模原市立図書館参考資料 閲覧・複写作業	13日(木)	第1部会市内巡見
12月			1日(月)	第4部会市内巡見			

コラム

ちっとなべえ

第1回 こんにちは 市史編さん室です！

「羽村市史編さんだより 伸びゆくはむら」が創刊されました。これから、市史編さんに関わる情報を、この紙面いっぱいに詰め込んでお届けします。

市史編さん室の事務室は、市役所の3階にあります。向かいの窓からは、草花丘陵の向こうに富士山の山頂だけくっきりと見えます。今はまだ雪化粧の富士山ですが、夏には青い山肌に変化します。

この部屋が、いわば市史編さんのためのベースキャンプです。これから羽村に関する情報が蓄積されていきます。これらの情報を資料として整理し、一つ一つの事実を積み上げ、『羽村市史』へと繋げていきます。

「歴史」は過去を振り返るものと思いがちです。でも、振り返る動作を思い浮かべてください。体の向きは前を向いていませんか。そうです。振り返った後は、未来を向くのです。歴史は過去に遡ることだけではありません。未来に向けて大きな指針を与えてくれるのです。『羽村

市史』にもそんな思いを込めて、未来の羽村のために、今できることを記録できたらと願っています。

さて、このコラムでは、市史編さんのこぼれ話的な話題を、つれづれなるままに書き連ねようと考えています。気軽に読んでいただければ幸いです。(M.M記)



▲市役所から見た富士山

※「ちっとなべえ」とは、羽村のむかしことばで「ちょっと、少しばかり」という意味です。